

群馬県企業 女性社長比率は 8.6% 全国 30 位

女性社長は 1861 名
サービス業が最も多く、比率は過去最高を更新

群馬県・「女性社長」分析調査(2025 年)



本件照会先

直井明彦(支店長)
横井幸一郎(情報担当)
帝国データバンク 群馬支店
TEL:027-386-4041

発表日

2026/02/03

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

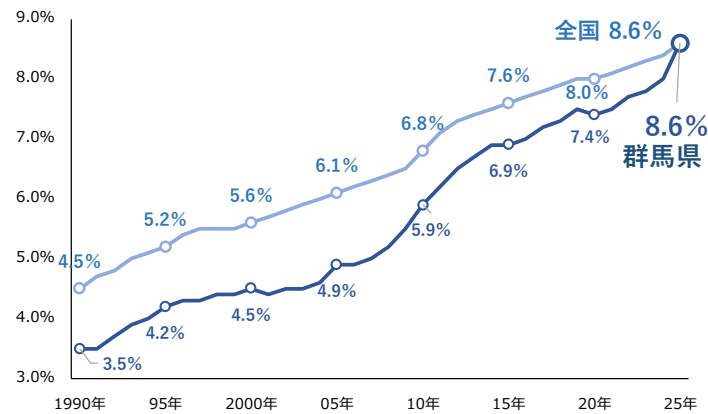
2025 年 10 月時点で、群馬県企業の女性社長比率は過去最高の 8.6% となった。業種別では「サービス」が 15.0% でトップ。一方で、「建設」は 3.8% となり、低位にとどまっている。都道府県別では「徳島県」が 12.3% で最も高く、群馬県は 30 位だった。女性社長の割合は今後も増えていくことが予想される一方、女性起業家の育成や支援の強化が求められる。

- ・帝国データバンク群馬支店は自社データベースをもとに、全国約 120 万社(群馬県 2 万 1750 社)の事業会社を対象に女性が社長(代表)を務める企業について分析を実施
- ・集計対象は「株式会社」「有限会社」「合同会社」「合名会社」「合資会社」
- ・同調査は今回で 12 回目だが、統計としては遡れる 1990 年から分析対象に含めている

群馬県企業の女性社長比率は 8.6%、過去最高

帝国データバンク群馬支店が女性社長比率について調査を実施したところ、2025 年 10 月時点で 8.6%と、前年を 0.6pt 上回り、過去最高を更新。全国平均(8.6%、前年比+0.2pt)と並んだ。都道府県別の順位は 30 位だった。他方、統計として遡れる 1990 年(3.5%)から上昇傾向にあるものの、依然として 1 ケタ台にとどまっている。

女性社長比率(1990-2025 年)



「サービス」が 15.0%でトップ、「建設」「製造」は低水準

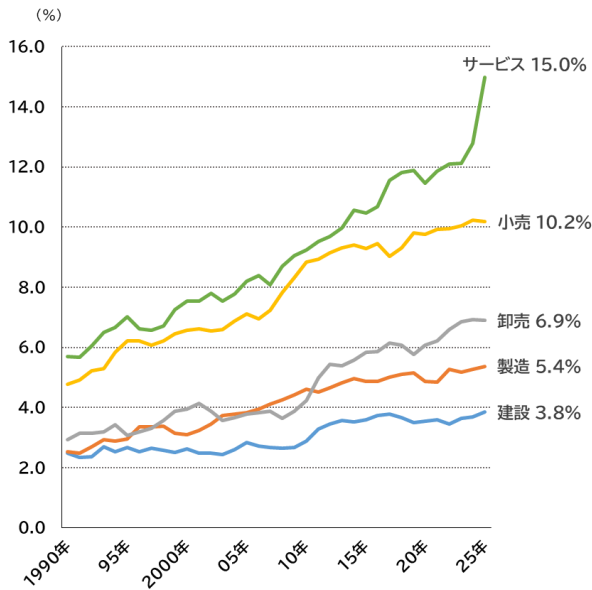
5 業種別に女性社長の比率をみると、「サービス」が 15.0%でトップ。「小売」(10.2%)が続ぎ、「BtoC」業種で女性社長比率が高かった。

一方で、「建設」(3.8%)は最も低く、全業種のなかで唯一 5%を下回った。次いで「製造」が 5.4%と低位で推移した。業種細分類別でみると、「美容業」が 40.9%で前年から 2.4pt 増加し、最高となった。次いで「老人福祉事業」(38.4%)、「化粧品販売」(29.4%)が続いた。

女性社長比率 5 業種別

業種別	1990年 (35年前)	2000年 (25年前)	2010年 (15年前)	2015年 (10年前)	2020年 (5年前)	2024年 (前年)	(%)	(pt)	
							2025年 調査時点	対35年前 増減	対前年 増減
建設	2.5	2.6	2.9	3.6	3.5	3.7	3.8	+1.3	+0.1
製造	2.5	3.1	4.6	4.9	4.9	5.3	5.4	+2.9	+0.1
卸売	2.9	4.0	4.2	5.8	6.1	6.9	6.9	+4.0	±0.0
小売	4.8	6.6	8.8	9.3	9.8	10.2	10.2	+5.4	±0.0
サービス	5.7	7.5	9.2	10.5	11.5	12.8	15.0	+9.3	+2.2

女性社長比率 5 業種別 / 業種細分類別(上位 10 業種)

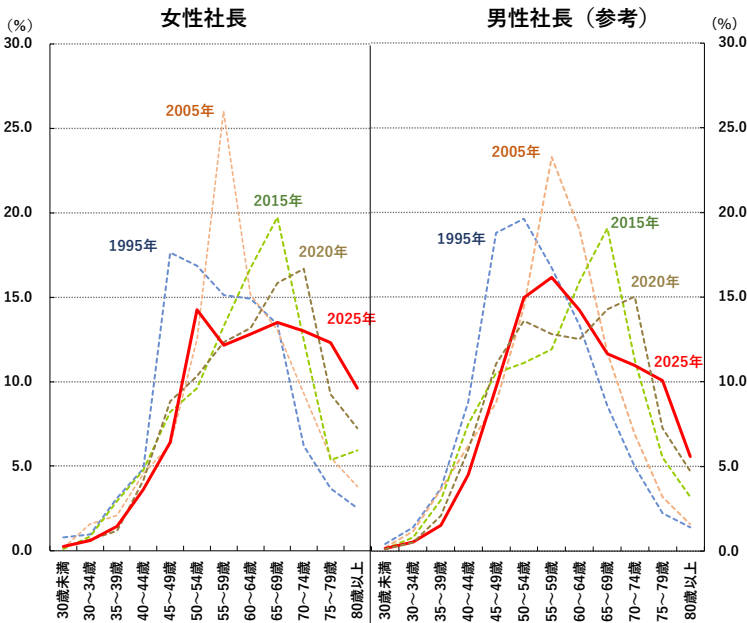


順位	業種名	2024年	2025年	昨年比
1	美容業	38.5	40.9	+2.4
2	老人福祉事業	34.9	38.4	+3.5
3	化粧品卸売業	28.1	29.4	+1.3
4	土地賃貸業	20.8	23.7	+2.9
5	貸家業	22.3	23.0	+0.7
6	個人教授所（学習塾を除く）	23.7	22.9	▲ 0.8
7	貸事務所業	21.7	21.3	▲ 0.4
8	発電所	19.5	20.9	+1.4
9	婦人・子供服小売業	19.8	20.5	+0.7
10	時計・眼鏡・光学機械小売業	21.1	20.0	▲ 1.1

女性社長は「50～54 歳」が 14.3%で最多

女性社長を年齢構成比でみると、「50～54 歳」が 14.3%で最も高かった。次いで「65～69 歳」が 13.5%で続いた。なお、後期高齢者に該当する「75 歳以上」に絞ると 21.9%となり、2020 年(16.6%)から 5.3pt 上昇、1995 年(6.2%)との比較では 15.7 pt と大きく上昇している。

女性社長の年齢構成比 経年変化



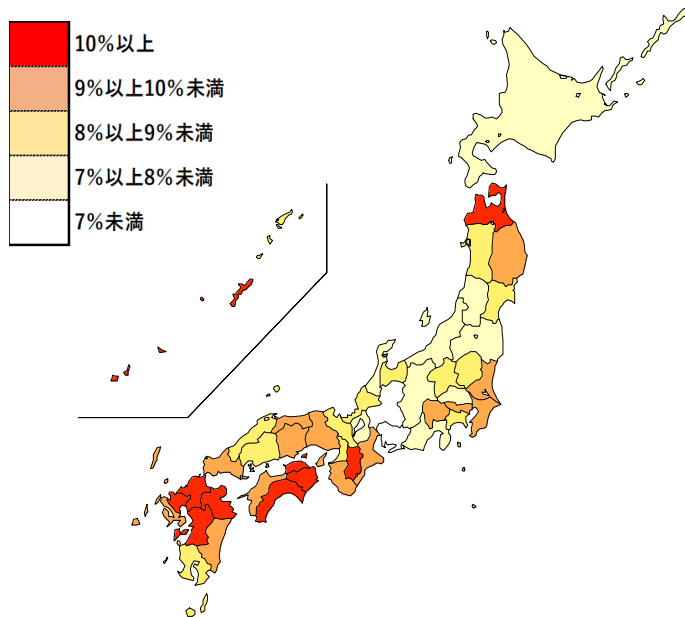
年代別	1995年	2005年	2015年	2020年	2025年
30歳未満	0.8 (+0.3)	0.1 (△0.3)	0.1 (△0.2)	0.3 (+0.1)	0.3 (+0.0)
30～34歳	1.0 (△0.5)	1.6 (+0.1)	0.8 (△0.3)	0.7 (△0.2)	0.6 (△0.3)
35～39歳	3.1 (△0.2)	2.1 (△0.8)	2.9 (+0.2)	1.2 (△1.2)	1.4 (△0.9)
40～44歳	4.8 (△1.0)	4.6 (△0.9)	4.8 (△0.7)	4.2 (△0.4)	3.6 (△1.0)
45～49歳	17.6 (+3.6)	6.3 (△1.3)	8.2 (+0.4)	8.8 (+0.7)	6.4 (△1.2)
50～54歳	16.9 (+1.6)	12.5 (+0.8)	9.6 (△1.0)	10.3 (+0.0)	14.3 (+2.9)
55～59歳	15.1 (△1.3)	26.0 (+6.0)	13.3 (+1.2)	12.3 (△0.3)	12.2 (△0.8)
60～64歳	14.9 (△0.8)	15.2 (△1.6)	16.7 (+2.1)	13.2 (+0.2)	12.8 (△0.8)
65～69歳	13.4 (+1.4)	13.1 (+0.3)	19.7 (+1.3)	15.8 (+2.1)	13.5 (+1.0)
70～74歳	6.2 (△1.9)	9.3 (△0.3)	12.5 (+0.8)	16.7 (+1.0)	13.0 (+0.9)
75～79歳	3.7 (△0.4)	5.5 (△0.8)	5.4 (△2.0)	9.3 (+0.2)	12.3 (+0.9)
80歳以上	2.5 (△0.8)	3.8 (△1.2)	5.9 (△1.9)	7.3 (△2.0)	9.6 (△0.7)

「徳島県」が 12.3%で、4 年連続のトップ

都道府県別では「徳島県」が 12.3%で最も高かった。前年から 0.2pt 上昇し 4 年連続のトップとなった。徳島県を中心に、四国地方では 3 県が 10%を上回っており、全国的にも女性社長割合の高さが目立っている。西日本エリアは全体的に高水準で、九州地方では「沖縄県」(11.8%)や「佐賀県」(11.1%)などが高かった。また、「青森県」は 11.2%と全国 3 位となり、東北エリアのなかで唯一 10%を超えた。

「群馬県」(8.6%)は全国で 30 番目。北関東の他県は「茨城県」(9.0%)、「栃木県」(8.4%)となった。なお、16 年連続で最も低かった「岐阜県」(6.6%)や、「愛知県」(6.6%)を中心に、下位には製造業の割合が高い中部・北陸エリアが並んだ。

女性社長比率 都道府県別



順位	地域	女性社長率
1	徳島県	12.3%
2	沖縄県	11.8%
3	青森県	11.2%
4	佐賀県	11.1%
5	香川県	11.0%
30	群馬県	8.6%
47	愛知県	6.6%
	岐阜県	6.6%

まとめ

2025 年の群馬県企業の女性社長比率は 8.6%だった。5 年連続上昇し、過去最高を更新したものの、1 割を下回る状況が続く。改正女性活躍推進法の施行を 2026 年 4 月に控えるなか、政府は 2025 年 6 月、女性活躍と男女共同参画社会の実現に向けた道筋を示す「女性版骨太方針 2025」を決定し、女性が地方でも活躍できる環境の整備を重点課題とした。企業や行政、学術、国際的な分野の意思決定層における女性の参画拡大を推進する。また、暴力防止や健康支援による安心社会の実現も含め、男女共同参画機構設立や災害対応への女性参画を進めて施策の加速化を図る。

なお、帝国データバンク群馬支店が 2025 年 9 月に発表した「女性登用に対する企業の意識調査(2025 年)」では、女性管理職の平均割合は 9.2%となり、過去最高となった。しかし、全国平均(11.1%)を下回り、「役員が全員男性」の企業は依然として半数を超えている。少子高齢化や生産年齢人口の減少が進む中、女性の活躍は国力維持の前提となる。様々な制度の整備・拡充により、引き続き女性社長や役員・管理職の割合は緩やかな上昇が期待できる。女性社長比率が 1 割を上回る状態に向けて、ライフイベントやキャリア、業種に合わせた女性起業家の育成・支援が重要になっている。